

令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 議事録	
日 時	令和5年8月29日(火) 15時～16時20分
場 所	葉山町役場3階 協議会室1
出席者	<p>■葉山町地域公共交通会議委員 小堤健司、菊池尚、加藤清、宮島直人、中井敬介、太田圭一、町田伸、平田伸一、清水弘子、 会長 苦瀬博仁、大門創、中野徹、藤森将文(長塚委員代理出席)、菊池孝雄(最上委員代理出席)</p> <p>■事務局 (葉山町 政策財政部 政策課) 課長 佐野秋次郎 主任 大屋敦彦 主任 山田悠司</p>
欠席者	<p>■葉山町地域公共交通会議委員 池田洋樹</p>
議事録	<p><b>1 開会</b></p> <p>山 田 : 定刻より少し前ですが、委員の皆様お揃いですので会議を始めさせていただきます。 本日はお忙しいところ、またこのようなとても暑い中、お越しいただきありがとうございます。 私は今年度より本会議の担当となりました、葉山町政策課の山田と申します。 どうぞよろしく願いいたします。 発言の際にはマイクのスイッチを必ず入れてからご発言いただきますよう、どうぞよろしく お願いいたします。 また、本日より新たな委員が3名いらっしゃいます。委嘱状は机上にて配布させていただきました のでご確認ください。なお、新たに委員となられまし最上委員におかれましては、他の公務 があるため、代理として神奈川県交通企画課交通企画グループの菊池グループリーダーにお 越しいただいております。後ほど、新たな委員の皆様から自己紹介の機会を設けさせていた だいておりますので、よろしく願いいたします。 それでは、進行につきましては、苦瀬会長をお願いいたします。</p> <p>苦 瀬 : 皆様お集まりいただきありがとうございます。それでは始めさせていただきます。</p> <p><b>★会議の成立</b></p> <p>苦 瀬 : 本日の出席委員は14名です。 葉山町地域公共交通会議規則の第5条第2項の規定により、半数以上の出席があるため、 会議は成立しているということをご報告いたします。</p> <p><b>★傍聴について</b></p> <p>苦 瀬 : 本日は傍聴希望の方はございませんでした。よって、このまま会議を進めさせてい きたいと思います。</p> <p><b>★自己紹介</b></p> <p>苦 瀬 : 先ほど事務局よりお話がありましたが、本日より3名の方が新たに委員になられて おります。一言、自己紹介をお願いしたいと思います。平田委員、中野委員、菊池委員の順 でお願いします。</p> <p><b>【委員の紹介】</b></p>

- ・ 関東運輸局神奈川運輸支局 平田委員
- ・ 葉山町社会福祉協議会 中野委員
- ・ 神奈川県交通企画課 菊池委員（最上委員代理）

### ★資料の確認（事務局から説明）

## 2 議題

### 京浜急行バス（株）からの報告

苦 瀬 : それでは次第に従って進めたいと思いますが、その前にご報告が一点ございます。  
京急バスから運賃の改定について報告がありますのでよろしくお願いいたします。

### ★資料「京浜急行バスの運賃改定について」について、藤森委員より説明。

苦 瀬 : はい、ありがとうございました。ご報告でございますが、何かお聞きになりたいことはありますか。

加 藤 : 今まで初乗り 180 円、今度は 200 円になる。昔は逗子から元町まで、今は森戸海岸まで同じ金額で行ける。今回はこの距離は変わらないのか。

藤 森 : この地域は対キロ区間制という制度をとっておりまして、まず初乗り運賃、その次にキロに応じた運賃ということで、この運賃については変更となるのですが、運賃区界というところは変更ございません。

### 議題1 令和4年度第2回葉山町地域公共交通会議の議事録の確認について

苦 瀬 : それでは議題に戻りたいと思います。議題の一番目、「令和4年度第2回葉山町地域公共交通会議の議事録の確認」でございます。事務局より説明をお願いいたします。

### ★「令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 全体資料」（2ページ）及び資料①「令和4年度第2回葉山町地域公共交通会議 議事録」により説明

苦 瀬 : ありがとうございます。もし修正があれば、今週中に事務局にご連絡とのことでした。

### 議題2 葉山町地域公共交通計画の内容検討について

苦 瀬 : それでは次に、葉山町地域公共交通計画の内容検討について進めたいと思います。事務局より説明をお願いします。

### ★「令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 全体資料」（3ページから5ページ）及び資料②「自治体ごとの理念、基本方針、基本目標まとめ」により説明

苦 瀬 : ありがとうございます。一点確認をさせていただきます。3ページに、本日は方針と目標を議論すると書いてあります。次の4ページには方針と区域、目標は記載が必須、理念は記載が任意だと書いてあります。それで5ページには、この計画の理念についてと書いてあり、これは葉山町の計画で理念を記載しましょうということなののでしょうか。それとも、記載しないということなののでしょうか。

佐 野 : ちょっと説明が分かりづらかったんですけども、計画の理念、先ほどスローガンのようなものと担当から説明しました。どうしても方針というものと、内容が重複して分かりづらくなってしまいますので、基本方針で理念も包含する形で定めさせていただくという

ことで、葉山町の地域公共交通計画の中では、理念は定めないということでご了解いただけるでしょうか、というご提案です。

町 田 : 資料5ページの①の計画の理念(案)というのは言葉足らずで、計画の理念に対する考え方の事務局案ということでご覧いただければと思います。

苦 瀬 : 分かりました。計画の理念は記載しないということが案ということです。皆様いかがでしょうか。

大 門 : 全体資料の4ページに方針と区域と目標は記載が必須と書かれている一方で、資料②に記載のある平塚市や伊勢原市、越谷市には基本目標が書かれていないのですが、これはどのように理解すればよろしいでしょうか。

山 田 : それぞれの自治体に詳細を確認したわけではありませんが、平塚市では法律上は方針とされているものを理念、目標とされているものを方針と位置付けているのではないかと考えております。

大 門 : 国交省の総合政策局が作っている手引きで必須と書いているものについて。つまりそれぞれ記載が必須なのか、必須ではないのかということが知りたいのですが。

大 屋 : 法定記載事項については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第2項に、基本的な方針、区域、目標など7つが書いてあります。ただ他の自治体に関しては、理念を方針と捉えているのか、理念と方針を別で考えているのかという違いが出ているのではないかと考えています。

大 門 : ありがとうございます。であればその理念と言ったり方針と言ったり目標と言ったり、手引きとの関係でみると、その対応は非常に曖昧だけれども、要は大項目、中項目、小項目のようなものがあり、三段階にするのか二段階にするのかということを決めたいという意図でよろしいでしょうか。

大 屋 : おっしゃるとおりで、三層構造なのか二層構造なのかというところで、事務局としては二層構造を提案させていただいたといったところです。

苦 瀬 : 要は理念というと哲学的な言葉で難しいので、方針と目標を記載することでいいのではということだと思いますが、この点に関してはよろしいでしょうか。他にご意見がないようであれば、この理念に関しては、計画の理念は記載せず、基本方針を計画理念と同等というように見るということでよろしいでしょうか。

〈その他意見なし〉

苦 瀬 : ありがとうございます。そのように進めたいと思います。では続いて②の計画の目標について説明をお願いします。

**★「令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 検討資料」(1ページから7ページ)及び資料②「自治体ごとの理念、基本方針、基本目標まとめ」により説明**

苦 瀬 : ありがとうございます。これから議論をしたいと思いますが、全体資料の4ページに記載がある基本的な方針というものが、町が目指すべき将来像や交通に関する取組みの方向性を記載すると書いてあります。そして計画の目標というのは、基本的な方針に即した、関係者が共通認識を持てる目標ということです。そうすると、目指すべき将来像という方針があり、その方針をみんなが理解したから、目標をいくつか立てるというように理解しましたが、それでよろしいのかどうか。また、資料③において方針と目標の

位置づけが分からなくなってしまう、資料②の川崎市の例でいうと、基本方針が1つあって、それを実現するための目標が4つあります。葉山町ではその位置関係がどのようになるのか、教えていただけますか。

佐野：大変失礼いたしました。基本方針について、先に説明させていただこうと思いますが、この間。葉山町の現状と課題について、会議の中で共有議論していただいたところですが、その課題を振り返りつつ、それを解決するものを目標として掲げるべきだということで、先に説明してしまいました。方針がスローガンのような、全体を包含したような、例えば資料②に記載の大和市のような「もっと外出が楽しくなる「やまと」を目指して」という方針をもとに「誰もが使いやすい移動サービスの実現」などの目標を設定しているという立て付けになっているので、葉山町も当然このような方針があり、その方針に合った目標をという流れで説明した方が分かりやすいかと思いつつ、先に課題と目標について説明をしてしまいました。本来あるべきは方針の説明をした上で、ということはおっしゃる通りで、より具体的な策を先に示してしまい、順番が逆になってしまいました。

苦瀬：7ページのスライドを見ると、基本方針案というタイトルで5つありますが、これは目標であって、下にある1つが基本方針案ということですよね。

山田：おっしゃるとおりです。申し訳ございません。

苦瀬：はい、わかりました。

町田：そうすると、7ページの矢印は逆ではないかという指摘は当然甘んじて受けなくてはいけないと思います。正しいやり方かどうかは別として、事務局としては、前回までの会議で葉山町における交通の課題については町民アンケート等を通じて、今事務局が説明した基本目標の柱となっている5つぐらいの課題を出しました。それに対する解決案を計画に落とし込むものですので、まずは課題を確認しようというところから始めましたので、議論の順番としてはこの矢印は逆になってしまうのですが、まずは課題を皆さんで共有したうえで、計画になるよう盛り込むというところで、この矢印が上向きか下向きかというところは少し置いておいていただき、先にこの目標設定をした上で、共通する部分がどこかというところで、基本方針を定めるやり方もあるかということをお含みの上、ご理解、ご議論いただければありがたいと思います。

清水：神奈川移動ネットの清水でございます。私は福祉の視点や住民が参加するという立場で意見を言うということで選出いただいていると思っております。検討資料の4ページの解決策の一例の一番下にバス停までの移動手段と出ています。今、国では共創という言葉を使って、色々な立場の人が色々な資源を使ってということだと思いますが、一緒に検討して資源を持ち寄って、交通というより外出支援策を考えています。資料にははっきりとは書いていないものの、住民が参加して運行や運営をするということも含まれていると思いますが、なかなかそういうことが読み取りにくいとは思いますが、ただ、この会議の中で共通理解があれば、この書きぶりでも十分かと思えます。令和4年度の地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針の中にも、地域の輸送資源を総動員という言葉が、いいかどうかは別として書いてあったと思います。今、福祉施設の空いている車、社会福祉法人との連携ということが全国的にはものすごい数で行われています。他市の公共交通計画の中にも、こういったツールがあるとはっきり書いている場合があります。例えば私は横浜市で委員として参画していましたが、福祉有償運送という言葉が入っていたり、住民バスという表現で住民交通を住民が好意的、自発的に作っていくタイプのものが入っていたり、先ほど言った社会福祉法人との連携による外

出支援づくりということが入っています。またもう1つ、これは介護保険に関わるころですけれども、総合事業の制度を使った住民活動の支援ということも交通計画の中に入っています。そのようなことが皆さんの共通理解としてあるのかということと、計画をもっと具体的にしていくなかにそういった言葉がきちんと計画に入るのかということ案じています。3つ目の基本目標、地域コミュニティにおける移動への課題への課題に対する目標案というところで、共創、社会資源の活用、住民参加型といったものが盛り込まれることを期待しています。

佐野：清水委員、ご意見ありがとうございます。本日は目標と方針の整備という中で、その一例を書かせていただきますが、次回、この目標が仮決定となった場合には、その目標についてどのような具体的な策が考えられるのか、想定されるかという中では、今お話しをいただいた方策の具体的な提示、記載をすることになると考えております。総合型との連携、社協さんとの連携の他、福祉有償運送や、場合によって地域の協議会を作る中で、住民との協働で進める移動支援ということも視野に入れて、明確に分かるような書きぶりにしたいと考えています。

大門：先ほど基本方針についてのお話や説明も伺い、一点確認させていただきたいことがございます。先ほどの全体資料5ページのところで、計画の理念については記載しないということで共通認識を諮ったわけですが、上位計画である総合計画に理念があることを踏まえて、と書かれており、つまりこの総合計画の基本理念を踏まえて基本方針を設定するのかと理解したのですが、総合計画の基本理念というものがどのようなものか教えていただきたいです。

佐野：現在、第四次総合計画の計画期間なのですが、この計画期間が令和6年度末ということで、現在の理念は先ほど申し上げました、人を育てる葉山、暮らしを守る葉山、活力を創造する葉山、みんなで創る葉山という4つの理念が立っています。第五次総合計画については、この地域公共交通計画と同じ令和7年度スタートということになるので、これが総合計画の基本理念で、交通計画の方針に直結するということがパッと読み取れる形になるかどうかは分かりませんが、通常、総合計画の基本構想の中で理念を立てているので、葉山町全体の意見の中から、この方針に繋がることを念頭に今考えています。その総合計画の理念はどうなっているのか、となると、今はお示しできるものがなくて大変恐縮ですが、そういった上位計画との関係が分かる形で、総合計画も作っていかうと考えています。

大門：分かりました。いずれにしても、これから総合計画が令和7年度から策定されるのですが、交通計画の策定においても総合計画を横目で見つつ最終的に確定していくという意味から考えると、現時点で一言一句確定させるものではなく、一旦の方向性としてはこういう方向でいいよねという共通認識を図りつつ、これから具体的な施策を検討していく中でこの言葉についても変わってくるということが起こり得ると思いますけれども、そういった認識でよろしいでしょうか。

佐野：はい、そういう意味では課題を整理した中で、まず柱となるような、どのような課題を解決していかないといけないのか、この課題が漏れていないか、ここについては考えなくてよいのかということ、皆様からご意見を頂戴しつつ固めていきたいと思っていますので、最終的にパブリックコメントの案も作って進めていく中では、一言一句をお示しできるわけではないと思っていますので、本日はその方向性についてご意見をいただければというところです。

- 大 門 : 分かりました。そうすると、基本方針案として書かれているのは、みんなで支えて未来へ繋げる、持続可能な公共交通ということですが、地域公共交通計画を策定する上でこの公共交通がどこまでのものを指しているのかということは、共通認識を持った方がいいと思います。資料を読む限り、基本的にはバスとタクシーがメインになってくるとは思うのですが、課題のところを見ると新たな交通や、レンタサイクルのようなものをイメージしていたりとか、あるいは議事録を見ると、人が買い物に行くだけではなく届けてもらうとか、そういったことも含めて公共交通とするのか、対象をどこまでとするのかということ、共通認識で話しておいた方がいいかと、この方針案を読んで感じました。
- 佐 野 : 貴重なご意見ありがとうございます。おそらく、この地域公共交通計画が最終的に出来る段階では、この計画の中に、先ほど福祉の視点という話もございましたけれども、葉山町は鉄道が通っておらず、バスとタクシーが公共交通の主要な機関だという中で、それをどういう形で補完していったらいいのかという部分を含めた地域公共交通計画だということが一番最初に説明するのではないかと考えています。その視点が抜け落ちないように、共通の理解を得られるように形を整えていきたいと考えています。
- 小 堤 : 検討資料3ページの中に、逗子駅方面への渋滞ということ、解決策の一例で広域的な視点でのボトルネックの解消とありますが、この区域はどこを設定するのか、町内なのか、逗子横須賀まで考えるのか、その考えを教えてください。
- 佐 野 : 長柄交差点の慢性的に渋滞ということを書きつつ、住民の方が一番ストレスを感じているというのは、朝の通勤通学時間帯の逗子駅に向けての渋滞、特に雨天の日は渋滞がかなり激しくなっています。その渋滞の先頭を見ると、JR逗子駅のロータリーから、そして京急逗子葉山駅に右折する交差点のところはボトルネックになって流れてきているので、広域的な視点で逗子市さんと話をさせてもらうことができないかという思いを持っております。ですので、この広域的な、ということは横須賀市というよりも、逗子市とうまく話せるテーブルを持ってないかというようなものです。また、当該路線は県道311号線になることから、道路管理者の横須賀土木事務所さんとも話をさせていただき、計画に記載できるかということ、今後探っていきたいと考えています。
- 苦 瀬 : 他にいかがでしょうか。方針と目標と一緒に議論するようになっていますが、どちらも構いませんので、ご意見ございましたらお願いします。
- 平 田 : 神奈川運輸支局でございます。先ほど説明のありました、上位計画との整合というところで、総合計画だけではなく、葉山町では都市計画マスタープランも策定されていると思うので、そちらとの整合も図っていただければと思います。
- 佐 野 : おっしゃるとおり、都市計画マスタープランについても、計画期間が令和7年度までと半年間ずれているのですけれども、地域公共交通計画を作っていくなかでは都市計画マスタープランも当然、関連する計画だと思っておりますので、所管部局と調整したいと考えています。
- 苦 瀬 : 私も一人の委員として意見を述べたいのですが、基本方針案のみんなで支えて未来へ繋げる持続可能な公共交通を目指すというもの、これは絶対に誰も反対しないですよ。どういうことかということ、どの自治体でも使える言葉かもしれないということですよ。それがいいのかどうか、葉山町としてはこれでいこうというのであればいいのですが、方針や目標にもっと葉山町らしさや、葉山の特徴を使うという視点もあっていいかもしれません。別にこれが悪いというわけではなく、色々なタイプのやり方があると思うの

で、そのあたりは整理されたらいいのかな、というのが私の感想です。それから目標に関してなのですが、当初の全体資料の案ではなんとなく対象となる人が見えたのですが、この検討資料の案では見にくいかなと思います。地域住民とか観光客とか高齢者と書いてあれば、確実にその対象が分かって、どうするのかということが見えたのですが、町内を移動しやすい交通ネットワークとなって、通学や通勤の人が町内でどうするのかとか、そのあたりがぼんやりしてきたかと思います。そのほうがいいのかよく分かりませんが、2つ目に気になりました。3つ目に、将来の公共交通、先ほど地域参加の共同参画のような話もあったと思うのですが、高齢者の問題でいうと、葉山町の形を見ると平地ではないので、買い物や通院は通勤通学と同じくらい高齢者にとっては負担で、地域でどう支えるかなど色々な話があると思うんですけど、そういうキーワードがあれば、葉山町に住みたいと思わせるものがあるかなということが気になりました。最後4つ目に、町内の課題としてバスネットワークへの課題や渋滞の問題があるんですけど、これはいつの時点の課題なのかというところ。今の課題なのか5年後の課題なのか、この公共交通計画は何年後を目標としていて、そうすると今は課題でもその頃には解決しているのかしないのか、もっと深刻なのか、そのあたりが理解できなかった。観光客は相変わらず来るとすると、住んでいる人たちとしては、観光客には来てもらいたいけど、自分たちの生活は確保しておきたい、そのバランスをどうするのか、という点もある。また、自分がこれから住むとして、年を取って重いペットボトルは運べなくなって、買い物に行くのも難しくなったとき、葉山町はこういうことをやってくれそうだと書いてあると、移住しようとかいう思いも出てくる気がします。いつ、誰がターゲットなのかということを考えていただくと嬉しいと思います。これは質問というよりは意見、お願いみたいなものですが、よろしくお願いします。

佐野：ご意見ありがとうございます。先ほどこの課題はいつ時点のものかと聞かれたときに、今だと思いました。持続可能と言っている割には、その状況はずっと続くのかと話をされると、何とも言えなくなってしまうのが事務局案の弱いところだと感じました。それともう1つ、総合計画もそうなんですけど、総花的な、どれもとりあえずちゃんと拾っておかないかという話をすると、どこの自治体でも似通った感じになってしまい、葉山らしさが見えなくなるのは確かです。葉山らしさとは何だとよく言われるんですけど、葉山としての進むべき方向性とか、葉山だからこそっていう部分について、もう少し考えるべきじゃないかという話はそのとおりでと思っていますので、計画を作ったときに自分のことが書いていないとなると、行政側はその点が抜け落ちているじゃないかと言われる話なので、どうしても広がりを持った計画になってしまうんですけども、今の苦瀬会長のご意見を踏まえたうえで、今後に向けて検討を進めさせていただきます。

清水：私も上手く言えませんでした。苦瀬先生がおっしゃったみたいに、あまりにもざっくりとしているので、本当に取り組むのか見えにくいという思いで先ほど発言しました。先日、東京新聞にも投稿があり事務局にもメールを差し上げたんですけども、中学生のお子さんが家からバス停まですごく遠いから、家に帰ってから遊びに行く気もしない。自分たちより上の世代が、自分たちの住宅地にバスが来ることを拒否したのかもしれないけど、再考はできないのかという内容だったと思います。子どもの自由な外出という視点で議論しようという場がありまして、そのような話をしたときに、子どもが育つ環境という意味での公共交通というのをすごく問題視されている側面があり、確かに高齢者だけではなく、これからの若者が自由に動きやすい交通という点も大事だと思っています。

ます。資料で見ると、湯河原町の基本方針はかなり具体的だと感じました。

太 田 : どうしても総花的になってしまうというのもあるんですけども、1つ1つの用語の定義というのは、今後考えようという話もあったんですけど、一定の共通認識というのはやはり持っておいてもらった方が、話が散らからないんじゃないかと思いました。それと広域的なボトルネックの解消という話で、逗子がどうしてもボトルネックになっているのは分かっているんですけど、国交省の地域交通デザインのパンフレットを見ると、広域的なエリアで検討できます、計画の主体として広域的なものが認められると書いてあるんですけど、ここまでは多分やらないですよ。ちょっと話をしてみようか、協議をしようかというレベルだと思うんです。ただ逗子の方としては、葉山の車がいっぱい来て迷惑だということもあるでしょうし、葉山の人は逗子が渋滞して困るということもあるだろうし、その点は重要かと思いました。もう1つは、先ほどから上位計画の話があるんですけど、現段階で、上位計画のどういったところを目指しているのかということにレクチャーいただいたほうがいいと思います。都市計画マスタープランではここです、というような説明をもらったほうが、これから改正されるにしても、現段階での状況は必要かと思いました。それと前回の議事録の中で1つ、クロス集計について課題としてあったんですけど、すごく重要なところがあったと思うので知りたかったと思いました。そして交通の範囲や状況ですと、どうしてもバス路線や渋滞という話になるんですけど、諸外国を見ると、例えばフランスのパリでは、中心部の交通の速度制限を30キロにしましょうとか、交通ルールまで決めている事例もあるので、ハードだけでなく、そのような施策も打ち出していけるのではないか思ったので、考慮していただければと考えています。

大 屋 : 広域という観点の話とアンケートについて少し話をさせていただくと、横須賀三浦地域の交通の担当者が集まる会議では、この地域はどうしても、JRもあります、京急電鉄、京急バスの交通ネットワークで主に形成されており、計画を作るところまではいかないものの、広域的な連携は重要だろうという話が出ています。逗子市の担当者からも逐一状況を尋ねられており、もちろん回答しています。逗子市はデマンドタクシーの実証実験をやったとか、私たちはまだ事業まで行っていない状況ですけども、逗子市は計画はないけど事業をやっているという状況もあるので、そういった情報提供をいただくなど、担当者間の連携はしています。ですので、先ほどの交差点の解消のような記載ができるかどうかという調整は分かりませんが、きちんと連携はしたいと思っています。アンケートの集計結果については、まだ読み込みが足りていないとは思ってまして、前回の会議では追加で集計が欲しいと言われてますし、葉山らしさという点では、1,200通のアンケートを出して50%を超える回答を頂いた中で、自由記述の欄でご意見を多くいただいています。不満点もいただいています。最近ではAIを活用して、感想などが一覧になっているものを読み込ませると、キーワードで多いものを自動的に絵のようにしてくれるものがあって実際にやってみたのですが、そういったものを見ると町民がどう思っているのかということイメージしやすいと思います。あとは総合計画のアンケートでも、葉山のキャッチフレーズなどにも葉山らしさが表れているものもあるので、うまく組み合わせながら、葉山らしい計画にしていきたいと思っています。アンケートの読み込みについては次回また提示させていただきたいと思っています。

太 田 : PDCAで回していくという点で、どのように回していくのかということと、目標設定のときにどう評価するのか困っちゃうじゃないですか。その点はどうでしょう。



佐野：進捗管理については、計画を立てた以上はそこに向けてという部分はありますが、内容によっては相手のあることなので、そこに向けてどういうアクションをしたか、その結果うまくいかなかったときに何が理由でうまくいかなかったのか、あるいはどうしてうまく進んだのかという部分をきちんと説明できるというのが我々行政の責任だと思っておりますので、そういう意味では取り組む、取り組んだこと、その結果どうだったのかということを見つつ、また次の計画にというやり方をしていくつもりです。ただ、必ずこれをやりますということが計画の中ではなかなか明言できないと思うので、方策として示すに留まるんではないかと思っています。ただ、その方策もただ記載してほったらかしでよいとならないような作りにしたいと思っています。

苦瀬：方針と目標を作って、目標を実現するための手段を整理して、その目標を実現するための手段を細かくいっぱい書いてしまうと、何から何までやらないといけなくなって大変になってしまうので、どう書くかは置いておいて、振り分けておく必要はあるかもしれませんね。実際の目標は立てたけど、何をすればその目標が実現するのか、誰にとってよくなるのか、そのあたりは考えていただくと嬉しいかと思います。

町田：太田委員から総合計画の現状についてとお話がありましたが、大変お恥ずかしいのですが、現時点でお話できる進捗としては、庁内でオーソライズできている範囲というのが策定方針のところまでしか行き着いてございません。最上位計画である総合計画を基本理念から始まって、基本構想と基本計画、実施計画をどのような柱にするのかというところは、これから議論を始めるところです。前回の議事録を見返すと他の計画の進捗については逐一報告すると申し上げておりますので、次回の会議において、総合計画の作りがどうなっていくのか、基本的な考え方をできる範囲でお伝えしたいと思っています。

苦瀬：宿題がいっぱい出てしまって大変でしょうけれども、よろしく願います。それでは④の今後のスケジュールについて願います。

**★「令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 全体資料」(18ページ)により説明**

苦瀬：ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等はございますか。

〈意見・質問なし〉

**議題3 その他**

苦瀬：最後に議題3のその他について説明をお願いします。

**★「令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議 全体資料」(19ページから20ページ)により説明**

苦瀬：ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございますか。

〈意見・質問なし〉

苦瀬：ないようですので、議題3については以上とさせていただきます。本日の議題は以上となります。これをもちまして、令和5年度第1回葉山町地域公共交通会議を終わりにしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

